

総務文教委員会

本委員会では、第1回定例会で「スポーツ振興について」事務調査の許可を得て現在調査を進めています。

スポーツには様々な要素があり、楽しむ・競技・人々との交流・健康維持など年代や目的によって多種多様なものがあります。

富良野市では、スポーツ振興の基本は、平成13年からの「富良野市総合計画」に基づいて教育委員会が所管し、社会教育・社会体育の一環として市民の豊かなスポーツライフを目標に、四季を通じて「ふらの」らしい生涯スポーツ振興を目指し、主



少年団交流大会

な施策として環境整備のほか幼児期から高年期と世代別に現状と課題推進目標、項目を明らかにし、市民の皆さんが触れあい楽しむ機会提供などを関係団体と連携し、生涯スポーツの視点で現在推進しています。

また一方でスポーツには、オリンピック、ワールドカップなどのように世界中が注目し、多くの人が夢・希望・感動を共有できる魅力もあります。

今まで、富良野においても冬季オリンピックを始め、各種大会で優秀な成績を取った幾多の選手を排出していますが、現在の子ども達も各種大会出場を目指し、日々努力を重ねています。選手達のそのような姿は、世代を超え人々をひき付け社会に大きく影響を与えています。

私たちは、改めて「スポーツ力」を認識し、スポーツ選手の強化育成の新たな視点を加えた「スポーツ振興について」調査検討を行い、課題として指導者の確保や資金の問題など多くの課題がありますが、新たなスポーツ振興の政策提案を目指して検討を重ねていきます。

経済建設委員会

■「ふらのらしい住環境整備について」調査

本委員会では「ふらのらしい住環境整備」について調査を進めてきました。ふらのらしさとは何か。まず、自然環境が豊かなことや素晴らしい田園風景があり多くの観光客が訪れています。また、ごみの分別やリサイクルなど環境に優しいまちとしても評価が高く、市民の環境に対する意識が高い事もふらのらしさと言えます。一方、北国という厳しい気候風土の中で住宅の防寒対策や暖房にコストがかかるなどのハンデがあり、こうした地域特性に応じた住まいづくりに取り組む事が重要です。

■自然エネルギーの活用

二酸化炭素の削減など環境に配慮した太陽光や地中熱、空気熱を利用した再生可能な自然エネルギーを住宅の電気や暖房に活用することはきわめて有望で



木質ペレット

すが、初期投資にかかる負担が大きいたことが普及への障害となっています。太陽光発電では、1kwhあたり7万円の国の補助制度はありますが、本市はこのような自然エネルギーに対する補助制度はなく、環境都市として独自の取り組みが必要です。

■「ふらのらしい景観形成

住環境を考える時に、外観、外構などのエクステリアは景観の統一性の視点からも公共性が高く、地区計画を立てるうえでの基準も必要です。また、本市の観光資源である田園景観を維持するためにも農村部の住環境整備も重要です。本委員会では、ふらのらしさを追求し更なる調査を進めていきます。